

令和5年度 学力向上推進計画 1

学校種	小	学校名	砥部町 立 広田小 学校
学校番号	90	校長氏名	坪内 英樹
期間	R5.4~R5.9	学力向上推進主任氏名	城戸 祐乃

Plan 計画

【現在の子供の姿】

- 自分の考えを表現する力が低い。
- 基礎・基本の定着に差がある。
- 小集団学習のやり方が身に付いていない。
- 対話によって意見が深まっていない

1

身に付けさせたい資質・能力

- ア 基礎的・基本的な知識及び技能
- イ 自分の課題を見付け解決したり、学びたいことを追究したりする能力
- ウ 既習事項を生かしたり、他者の考えとつなげたりして自分の考えを深め、表現する能力



具体的な取組 ※ICT機器、EILSの活用

- ア EILSを活用して、ドリル問題を反復練習し、基礎基本の定着を図る。
- イ ICT機器を使い、課題を追求し、学びを深める。
- ウ 授業において、週2回以上は対話を通して学び合う場を設定する。

2

Do 実践

全教職員による共通実践

3

Check 評価 ※ICT機器、EILSの活用

【成果○と課題●】

- 学級が少人数であることを生かして、意見を交換しやすい環境や授業作りができた。
- ICT機器でドリル学習を取り入れることで、それぞれの児童の学力や進度に合わせて学習しやすくなった。
- EILS、10分間集中テスト等で、基礎・基本の定着と児童の学力の確認ができた。
- 学級によってICT機器やEILSの活用は、実施頻度が違うため、活用法を研修で周知する必要がある。
- EILSを活用する時間の確保が難しかったため、学校全体で実施時間を設けたり、子供たちに習慣付けたりする必要がある。
- 対話の場は設定できているので、内容を深めていく必要がある。

4

Action 改善案(課題をより明確にし、取組や評価方法の検証・改善)

- ★ 週に1回以上は、ICT機器を使って学習する。
- ★ よりよいICT機器の使い方を学ぶための、研修をする。
- ★ 対話の内容が深まるように、指導を工夫する。

→2次サイクルへ